



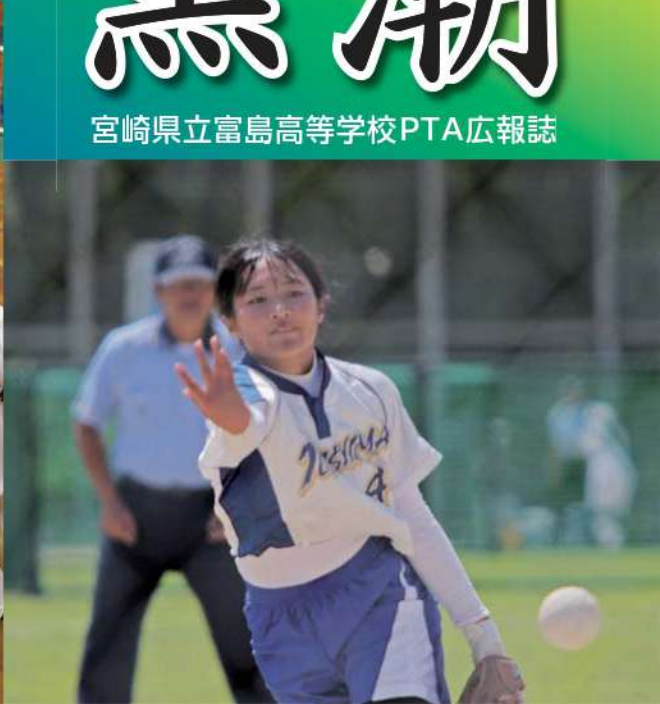
全力 TOMIKO



2023.7 No.138

黒潮

宮崎県立富島高等学校PTA広報誌



PTA会長
寺田 泰隆

「ごあいさつ」

この度PTA会長を務めさせていただきます門川町在住の寺田泰隆と申します。私は日向高校の出身ですが、学生の頃なぜか「とみこー」にとてもあこがれていたことを思い出します。昨年、娘がその富島高校を沢山の思い出とともに無事卒業させていただきました。先生方をはじめ、PTAの皆様、友人たち、その他支えてくださった皆様には感謝しかありません。そして今年度からは息子が富島高校生としてお世話になります。富島高校へ恩返ししたい気持ちはもちろん、これから子供たちのかけがえのない瞬間を親として先生方と協力し、より楽しく輝かしいものになりたい一心で会長という大役を初めて引き受けさせていただきます。

教育環境は常に変わっていくものだと思います。以前の当たり前が今の当たり前とは限りません。目まぐるしく変わっていく社会。それを受け生徒たちを取り巻く環境も日々変化していくのは必然のことでしょう。世の中を一気に不安の渦に陥れたウィルス。しかし、それを乗り越えたからこそ見えてきたこともたくさんあります。必要なものにはさらに工夫を重ね、そうでないと思われるものにつきましてはしっかりと目で見極めていくことが大切だと感じます。学校でのICTを活用した学習につきましては、地域や幅広い分野から大いに期待されているところです。その他にも多様性の変化やインターネットラブル問題等々、心配事も少なくありません。決して簡単ではない今日の社会に対応していくためにも、今こそ「子供たちの為に」保護者や学校が出来ることを全力でやっていくことが必要ではないでしょうか。「上手くいかない失敗ではなく経験であり、本当の失敗とは何もしないことだ」という言葉が示すように、とにかく子どもたちのことを第一に考え全力で活動していきたいと思っています。その為には皆様の深い「理解と厚い「協力が必須でございます。ご意見等ございましたらお気軽にお申し付けください。子どもたちの為に強く優しいPTAを目指し、みなさまと共に『全力TOMIKO』を合言葉に一致団結して参りたいと思います。どうぞよろしく願います。

校長
小川 晴彦

「全力 TOMIKO!」

令和5年4月1日に、本校の先生方へ本年度のスローガンに「全力 TOMIKO!」とすることを発表しました。どういう結果が出ても、人は全力でやろうと決意したとき、負担の思いや敗北への恐怖は、全て希望へ変わると信じたからです。

本年度の高校総体は4年ぶりに観客制限のない声を出しての応援が認められた大会でした。私が見に行ったサッカーは試合開始後のわずかの時間の失点で、バスケットボール女子の宮崎南戦は終了3分前の逆転で、バドミントン女子の団体戦では個人の競り合いで、いずれも惜しい試合を落しました。(他にも見に行っています。)

いずれもあと何が足りなかったのだらうと思っただのですが、全力を出し切ったのなら、勝負事である限り、それは相手を称えるしかないのかなとも思いました。

1学期の始業式で生徒の皆さんには、全力でやって上手くいけば喜びは大きく、自信もつき、次の目標も目指せる。全力でやって駄目でも、反省ができるし、人間も大きくなる。逆に全力を出さずに上手くいっても喜びは半減する。駄目な場合は、全力でなかったことを言い訳とし、人間の成長を妨げるという話をしました。

正門から学校に入ってくるとき、「全力TOMIKO!」の横断幕を確認して、富島高校の生徒である自覚を持ってもらえればと思います。自分が行っていること、それを全力で行えることを心から楽しめる人は、間違いなく幸福であると信じます。

副校長
中村 恵子

「郷土を愛し、自立した生徒の育成に向けて」

保護者の皆さまには、日頃より温かいご支援とご協力をいただき心から感謝申し上げます。赴任して約3か月が過ぎ、改めて日向市は山と海に囲まれ、美しい海岸線や溪谷など多様な自然景観と、若山牧水をはじめ多くの偉人を育てた風土や歴史に畏敬の念を抱き、ワクワクしながら地域探訪を行っております。

さて、今年度本校は、「全力 TOMIKO!」と地域社会と連携し、新時代を形成するために必要な学校教育の実践を、スローガンに、基礎学力の定着はもとより、専門教育を活性化させ、ビジネス教育・家庭教育を推進してまいります。その中で、地域貢献を軸とした循環型店舗の運営「3R2」をはじめ、商業科の地域企業・団体と連携した様々な取組みや生活文化科のボランティアデイや家庭クラブ活動を通して地域課題解決に主体的に向かう態度を育成しています。さらに、願うことは、生徒がそれらの活動を通して、郷土の良さに気づき、自分自身の考えや価値観に基づいて自己決定を行い、自分の人生や状況に対して「責任」を持って行動できる「自立」した人材に育って欲しいということです。

そのために、学校と保護者が連携し、共に生徒の自主性や自己表現、問題解決能力を伸ばす取り組みを今後も行ってまいります。是非、ご家庭でも「対話を通して成長を確認していただけたら幸いです。引き続き、保護者の皆さまと共に子供たちの未来を支えるより良い学校環境の実現に取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



令和5年度
第76回

入学式



4月10日に入学式が行われました。
全日制195名、定時制7名の仲間が増えました。



1年生の紹介

担任の先生に聞いてみた。

- ①クラスの第一印象
- ②先生のマイブーム
- ③生徒へのメッセージ



(商業マネジメント科)



担任 種子田 喜照

種子田先生は、とても面白く、生徒と仲が良い先生です。先生が話してくれる話がとても面白く、興味深いです。11HRは、明るく元気で、男女ともとても仲が良いクラスです。面白く元気な種子田先生、優しくきれいな落合先生とクラス全員で充実した1年を楽しく過ごしていきたいです。
(鈴木 美絢)

- ①坊主頭が多い！
- ②六根清浄
- ③勉強も部活も遊びも全力で！
高校生活を精いっぱい楽しみましょう！

12HR (商業マネジメント科)



担任 小川 剛史



- ①おとなしくて控え目の印象だけど、すごくお話が好きな生徒が多い
- ②やっぱり釣り
- ③一年間よろしくお願いします。

私たちのクラスの担任の小川剛史先生はとても生徒思いで、優しい時と厳しい時があり、頼りになる先生です。クラスの雰囲気はとても明るく面白いクラスです。だけどまだ男女の仲が深まっていないような気がするので、体育祭や文化祭で仲が深まってほしいです！私も少しハメをはずしてしまうかもしれませんが、委員長としてみんなを引っ張っていきます。(黒木 莉奈)

13HR (情報ソリューション科)



担任 野別 千夏

- ①明るい！
- ②韓国ドラマ鑑賞（再び…）
- ③たくさん学んで実りある1年にしましょう！！



13HRの担任の先生は、野別千夏先生です。生徒一人一人に寄り添ってくれるとても優しい先生です。クラスの雰囲気はとても元気のあるおもしろいクラスです。目標としてはメリハリをしっかりとつけて一人一人が何事も楽しく充実し、クラス全員が安心して過ごしていけるような一年間にしていきたいです。（長岡 昌汰）

14HR (情報ソリューション科)



担任 瀬之口 正太

14HRの担任、瀬之口先生はいつも明るく優しく、ノリがいい最高な先生です。14HRは、みんな明るく、笑ってばかりの元気が良いクラスです。クラスの目標は、資格を取得することです。そのために、クラス全員で協力して知識を身につけるなど全員で頑張っていこうと思います。（黒木 寛太）

- ①元気があって、素直そうだなと思いました。
- ②クラスの皆さんは知らないと思いますが『ちいかわ』にはまっています。
- ③富島高校に赴任してから、初めての1年生の担任です。皆さんが卒業するまで担任したいと思っています。

15HR (生活文化科)



担任 米良 陸美

- ①元気、明るい、メリハリ（最初の頃良く日記に書かれていました）
- ②年がら年中、ガーデニングにはまっています。夏は暑さと蚊との戦いですが、最近はまりだしたオーギープランツの花期になるので楽しみです。
- ③久しぶりの1年生担任です。いつも朝からうるさいことを言うようですが、みなさんの2年後を想像しながら話をしていますよ。日々成長している姿を見て私も日々成長、進化しなければならんと思っていますところですよ！



米良先生はとても優しく、生徒みんなから愛されている先生です。クラスの雰囲気はとても明るく元気で、一人一人の個性があふれています。毎日が楽しく、静かな日がほとんどないクラスです。1年生の生文は取得する検定が多く大変だけど、みんなで支え合って、全員合格を目指していきたいです。（黒木 碧巳）

高校総体

～応援ありがとうございました～



高校総体成績

【水泳部】

50m自由形 1位、100m自由形 1位
※九州大会（佐賀県）出場
400m自由形 3位
1500m自由形 2位

文化部 も頑張っています！

【e-Typing部】



九州大会
(7月25日・大分県)
全国大会
(8月3日・東京都)
上位大会に出場決定！

【珠算電卓部】



九州大会
(7月22日・熊本県)
全国大会
(7月25日・神奈川県)
上位大会に出場決定！

【文芸部】



第13回
牧水・短歌甲子園
(8月19日・20日)
本選出場決定！

【軽音楽同好会】



高等学校軽音楽祭@九州R5
～第2回九州コンテスト～
(7月23日)
出場決定！

歓迎遠足

5月2日(火)、伊勢ヶ浜にて歓迎遠足が行われました。当日は晴天に恵まれ、みんな楽しそうに過ごしていました。



第67回 九州地区高等学校PTA連合大会

つながりさがそう佐賀大会

～変わりゆく未来に向けて今できること～

6月29日・30日の2日間、佐賀県で実施されました九州地区高等学校PTA連合大会に参加して参りました。



第1分科会【青少年の健全育成とPTA活動】(PTA会長 寺田泰隆)

これから変わりゆく、未来を生きる子どもたちの健全な育成に向けて、今、PTAとして関わることの大切さを実感し、今できることは何かを共に語り合い、学び合う分科会となりました。熊本県立水俣高校 PTA は、子どもは応援されるだけでなく地域社会の一員として、PTA3役と生徒会の子どもたちと意見交換することで、子どもたちにとって必要な保護者の活動を考える機会となっている事例や、宮崎県立小林高校 PTA は、現在 PTA 活動に対する保護者の考え方や世の中の風潮が厳しくなっている中、「子どもの幸せを願う活動が無償で奉仕することができるのは私たち「親(保護者)」しか考えられない」という原点に戻り、持続可能な PTA 活動を見直す必要があると報告がありました。改めて地域の一員である子どもたちを学校と一緒に育てていくことの大切さとニーズを踏まえ新たな取組にトライすることも大切であると考えさせられた機会になりました。

第2分科会【進路指導とPTA活動】(PTA副会長 青柳心子)

変化の激しいこの時代の中で、子どもたちを取り巻く進路環境は複雑化し、進路志望も多様化しています。子どもたちの進路実現のために PTA ができること！その実現的な取り組みを発表していただきました。人生の先輩又は職業人である PTA を大いに活用し、将来の生き方を学ぶことで人生の目標や夢を考える機会になり、それが次世代の成長への歩みにつながることでしょう。「子どもたちの応援団でありつつきたい」そして周りの環境が変化していこうとも子どもたちに寄り添える PTA でありたいと思っています。

第3分科会【新時代の「大人」に、未来を託して～「成年年齢18歳」で変わること～】

(PTA副会長 田野亜矢)

成年年齢が18歳に引き下げられたことをテーマに佐賀県立佐賀東高校演劇部が上演を行いました。

高校生の視線から考える18歳で大人になるということ、演劇の内容も奥が深く見ていた私たちも引き込まれ考えさせられました。子どもたちは「教室で大人になっていく」、「大人としての判断力というのは一体誰が身につけさせるのだろうか」という問いも演劇の中で出てきました。

保護者の同意なく自分の意思で様々な契約を結べるようになる、結婚も親の同意不要、地域、家庭、学校がこのことをしっかり認め、受け入れた上で自分で決める！という意思決定の枠が広がる一方で「責任」というものを伝えていかなければならない。子どもたちをもっと自立させていかなければいけない、それと同時に時として子どもたちのことを大人がしっかり信じてあげることも大切。高校生の演劇は最後拍手がいつまでも鳴り止まず情熱的であり、彼らが高校生として成年を迎えることへの期待と不安も十分に伝わってきました。

素晴らしい時間をありがとうございました。

令和5年度 富島高等学校PTA役員紹介

会長/寺田 泰隆 副会長/青柳 心子
副会長/田野 亜矢 副会長/中村 恵子(副校長)
母親委員長/中里 美佳
生活指導・広報委員長/堀 圭吾
1学年委員長/高見 康史 2学年委員長/渡邊 愛
3学年委員長/中嶽 ふみ 顧問/立山 朱美(元会長)
顧問/椎葉 俊幸(前会長) 顧問/小川 晴彦(校長)
会計/黒木 孝一(事務長)
書記/濱田 登 (渉外厚生部)

●編集後記●

今年度1号の広報紙を無事に発行することができました。徐々に行動制限も緩和されて生活にも活気が出てきました。学校に響きあう生徒達の声や明るい表情に嬉しい気持ちでいます。本紙を通じて、その様子がお伝えできればと思っています。思いを伝える広報紙になれるよう全力で頑張ります！今後ともPTA活動へのご協力、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

学校のHP



インスタグラム



富島高校のマ・メール

(携帯メールサービス)

いろんな情報が学校より届きます。
登録は、カンタン!!
「QRコード」を読み込んで空メールを送信するだけ!!

詳しくは ☎0982-52-2158 濱田先生まで)

ご存知ですか?

